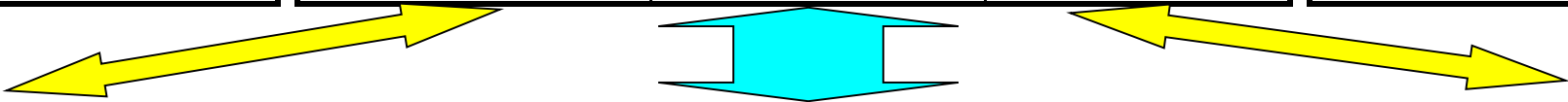


平成27年度 学力向上アクションプラン

尼崎市立明城小 学校

学力調査結果等から見た学力向上についての課題 ○全国調査の結果から見られる課題 (1)各教科の状況 ・テストをすることに慣れていないことや最後まで集中して取り組むことが苦手な児童が多い。 ・国語 文章の内容を理解する。制限された文字数での表現。 ・算数 計算のきまり。何を問われているのか、またどのようにつなげたらいいのか (2)質問紙調査 ・学校生活への期待や満足感はあるが、基本的な生活習慣を定着すること。	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標 ○ 全国学力学習状況調査 (1) 学力調査 ・平均正答率 (全国平均+1ポイント以上) (2) 質問紙調査 ・家庭学習1時間以上(35%以上)
	授業力向上への取組 ○3, 4年の算数科等において同室複数指導を中心とした指導方法の工夫を行う。【クリエイティブ児童支援を活用】 ○貝塚市小学校長を講師として招聘し、わかる授業展開を研修する。【クリエイティブ教員指導力向上支援を活用】	学習習慣定着に向けた取組 ○3, 4年の算数科等において同室複数指導を中心とした指導を行い学力定着を図る。【クリエイティブ児童支援を活用】 ○明城漢字ドリルの効果的な活用法を検証し実践に活かす【クリエイティブ学習感支援を活用】	その他の取組 ○体力向上につながるなわとび大会やマラソン大会 ○6学年の児童で構成される「たてわり活動」	



校種間連携 ○夏季合同研修の実施 健全育成中学校区内での研修 ・生徒指導 ・教科間連携 ・特別支援教育	活用する支援内容		家庭・地域との連携 ○就学前の施設と小学校 ・交流の場の設定 ・交流を通した保育と教育の連続性の検討 ○家庭学習の精選による学習習慣の定着 ○学力調査結果の公表
	支援内容 (1)児童生徒支援 (2)教員指導力向上支援 (3)地域人材活用支援 (4)学習習慣支援 (5)その他	具体的内容 ○子ども達が「わかった!」「おもしろい!」と意欲的に授業に取り組める授業構成を研修する。 ○明城小学校区内にゆかりある地名等を文章にし小学校6年間で学ぶ漢字をドリルにして学習している。また、級をつけ初級・中級・上級検定テストを行い意欲的・自主的に学ぶ姿勢と漢字の力を定着させる。	